

令和5年10月13日

瀬戸内市議会議長

小谷和志 様

瀬戸内市議会議員 小谷和志
廣田 均
河本裕志
岩田恵一
川勝浩子
成本 崇
秦井誠司

政務活動費視察等報告書

政務活動費を使用して、次のとおり調査研究活動をしましたので、その結果をご報告いたします。

期間	令和5年10月11日～令和5年10月12日
訪問先	参議院会館 石井正弘事務所
調査事項	(1) DX推進事業について (2) 離島振興法について (3) ゼロカーボン推進について (4) 過疎債について
調査概要	下記事項について、政策の説明および実例紹介、質疑応答 (1) DX推進事業について ・デジタル庁令和6年度予算概算要求及び税制改正要望の概要 デジタル庁 戦略・組織グループ 参事官補佐 温井 聡氏 ・地方公共団体の基幹業務システムの統一・標準化について デジタル庁 社会共通機能グループ 参事官補佐 外園 暖氏 (2) 離島振興法について ・離島振興について 国土交通省国土政策局 離島振興課 課長補佐 塚本 邦芳氏 (3) ゼロカーボン推進について ・地域脱炭素の推進について 環境省 地域政策課



	<p style="text-align: center;">課長補佐（統括） 三田 裕信氏</p> <p>（４） 過疎債について</p> <p style="padding-left: 2em;">・ 過疎対策事業債について</p> <p style="text-align: center;">総務省 自治財政局 財政調査課</p> <p style="text-align: center;">理事官 天野 秀亮氏</p>
<p style="text-align: center;">所感</p>	<p>現在、中央省庁が推進している事業について詳しく知ることができた。また実例を交えて説明を聞くことで、わが市でもどのように応用できるのかと言ったことが深掘りすることができ、大変学びが多い時間となった。</p> <p>特筆して挙げられるのは、離島振興について詳しく知ることができた。離島は本土と比較して過疎化が著しく進む状況をどのように支援することができるのか、将来性のある発展をどのように考えるべきかについてなど、現在のわが市の状況を踏まえて考察することができた。</p> <p>さらには、離島についての予算をどのように考えるべきかのヒントも得られ、中央から地方へとつながる方法論についても言及してもらうことで、場を改めて視察者らで議論することができた。</p> <p>大変実のある内容であり、今後の瀬戸内市の発展に対する議論のための参考になった。</p>